

おばま 市議会だより



- 3月定例会の概要 P2
- 平成28年度当初予算を可決 P4
- 市政を問う！一般質問 P8

3月定例会の概要

平成28年第1回定例会
が2月22日から3月23日
まで、31日間の会期で行
われました。

◆今定例会では、平成28
年度当初予算のほか、各
会計の平成27年度補正予
算や条例、その他議案等
の審議を行いました。ま
た、専決処分に関する1
件の報告を受理しまし
た。

◆さらに、「北陸新幹線
敦賀以西の整備に関する
決議」を可決し、小浜市
議会として、北陸新幹線
小浜ルートの実現を
求める意思を明確化いた
しました。
◆主な内容については、
次のとおりです。

●主な条例

◆小浜市消費生活相談室
の組織および運営等に
関する条例の制定につ
いて

賛成全員で可決

◆小浜市保育所設置およ
び管理に関する条例の
一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市母と子の家児童
発達支援センターの設
置および管理に関する
条例の一部改正につい
て

賛成全員で可決



◆小浜市下水道条例の一
部改正について

賛成多数で可決

◆小浜市立幼稚園設置お
よび管理条例の廃止に
ついて

賛成全員で可決

●人事案件

◆監査委員の選任につ
いて

吉田 善人氏（阿納）

●決議

◆北陸新幹線敦賀以西の
整備に関する決議

賛成全員で可決



【可決した平成28年度当初予算】

会計名	平成28年度	平成27年度	増減率	
一般会計	162億1,100万円	159億円	2.0%	
特別会計	95億2,329万円	93億5,537万円	1.8%	
内訳	国民健康保険	36億5,762万円	35億1,033万円	4.2%
	後期高齢者医療	3億4,472万円	3億4,771万円	▲0.9%
	介護保険	31億7,985万円	31億7,125万円	0.3%
	簡易水道	8,646万円	9,184万円	▲5.9%
	下水道	17億3,872万円	17億2,424万円	0.8%
	農業集落排水	4億5,985万円	4億5,536万円	1.0%
	漁業集落環境整備	5,599万円	5,463万円	2.5%
	加斗財産区	8万円	3万円	175.0%
企業会計（水道）	8億6,854万円	8億6,506万円	0.4%	
合計	266億283万円	261億2,043万円	1.8%	

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

【可決した平成27年度補正予算】

会計名	既決予算額	3月補正額	合計
一般会計	173億6,229万円	2億8,505万円	176億4,734万円
特別会計	94億1,485万円	1億5,340万円	95億6,824万円
企業会計	8億6,501万円	△3,695万円	8億2,805万円
計	276億4,215万円	4億150万円	280億4,364万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

平成 28 年第 1 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
予算	専決処分につき承認を求めることについて(平成 27 年度小浜市一般会計補正予算(第 7 号))	条例	小浜市職員の降給に関する条例の制定について
	平成 27 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 4 号)		小浜市行政不服審査会条例の制定について
	平成 27 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 3 号)		行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	平成 27 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第 5 号)		小浜市市税条例の一部改正について
	平成 27 年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第 2 号)		小浜市消費生活相談室の組織および運営等に関する条例の制定について
	平成 27 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第 3 号)		小浜市保育所設置および管理に関する条例の一部改正について
	平成 27 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)		小浜市認定こども園設置および管理に関する条例の一部改正について
	平成 27 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第 2 号)		小浜市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について
	平成 27 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第 2 号)		小浜市母と子の家児童発達支援センターの設置および管理に関する条例の一部改正について
	平成 27 年度小浜市水道事業会計補正予算(第 2 号)		小浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	平成 28 年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算		小浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに小浜市指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
	平成 28 年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算		小浜市立小学校および中学校の設置および管理条例の一部改正について
	平成 28 年度小浜市介護保険事業特別会計予算		小浜市立幼稚園設置および管理条例の廃止について
	平成 28 年度小浜市簡易水道事業特別会計予算		人事
	平成 28 年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算	報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
	平成 28 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算	その他	福井県市町総合事務組合規約の変更について
	平成 28 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算		負担付き寄附の受納について
平成 27 年度小浜市一般会計補正予算(第 8 号)	辺地の総合整備計画の策定について		
条例	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例の一部を改正する条例の一部改正について)	辺地の総合整備計画の変更について	
	小浜市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について		
	小浜市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正について		
	小浜市職員の退職管理に関する条例の制定について		

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 ※垣本正直議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	賛成	反対	
			久恵	雅之	輝雄	靖人	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治守	手蔵			
予算	平成 27 年度小浜市一般会計補正予算(第 8 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	欠	16	0
	平成 28 年度小浜市一般会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 28 年度小浜市下水道事業特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	16	1
	平成 28 年度小浜市水道事業会計予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	16	1
条例	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	欠	16	0
	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	欠	16	0
	小浜市下水道条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	16	1
決議	北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0



【採決表示ボタン】

●ホームページをご覧ください

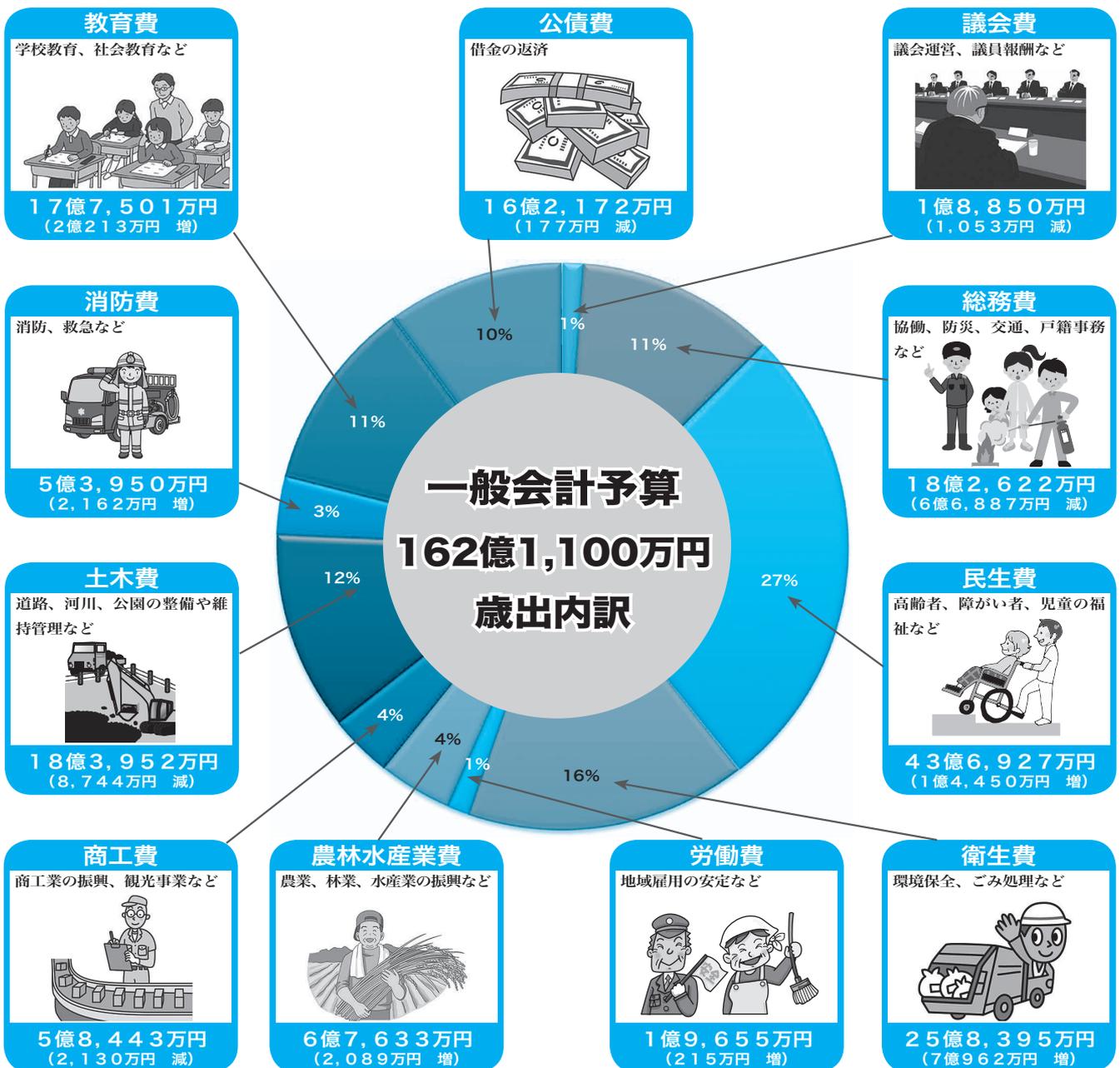
採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約 2 週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。「小浜市議会」で検索!

原案どおり可決

平成 28 年度の当初予算案を予算決算常任委員会で慎重に審議した結果、全会計とも原案どおり可決しました。

小浜美郷小学校の建設、人口減少問題への対策などの大きな計画も含め、市民の生活に結びつく様々な予算が盛り込まれました。

※（ ）は前年度比較



※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

総額 266 億 283 万円 平成 28 年度当初予算

本年度はこのような 新規事業があります！

子育て支援情報統合事業 180 万円

子育て情報を一元化したインターネットサイトを
作成し、小浜市の良好な子育て環境を PR する。

小浜美郷児童クラブ建設事業 573 万 2,000 円

小浜美郷小学校開校にあわせ、小学校敷地内に児
童クラブを建設するもの。

OBAMA でワーキングプロジェクト事業 (商店街職場体験) 50 万円

商店街を中心とした市内事業所への興味や愛着を
持ってもらい、地元での就職志向意識を醸成する
ため、商店街での 1 日職場体験を実施する。

運動遊び事業 113 万 2,000 円

体を動かして楽しく遊ぶ「運動遊び」を通じて、
幼児期における積極的な運動支援を図り、運動能
力の向上とともに、主体的な行動ができる子ども
の育成を目指す。

OBAMA でワーキングプロジェクト事業 (ふるさとしごと体験) 119 万 9,000 円

地元での就職志向の意識を醸成し、「小浜のしごと
情報と魅力」を知ってもらうため、ふるさとしごと
と塾を実施するほか、企業見学ツアーを行うもの。

まちの駅運営事業 1,538 万円

「小浜市まちの駅」を運用し、観光客の回遊性を
創出するもの。また、市民が憩い・集う場を提供し、
地域情報の発信、催事の開催などによる市民と来
訪者との交流の促進を図る。さらに、地域特産品
等の販売による地域産業の振興や、文化財建造物
の保存・活用による市民生活の文化的向上を図る。

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附
行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じ
られていますので、皆様のご理解をお願いいたします。



委員会議案等審査

予算決算常任委員会（3月補正）

◆居室介護サービス給付費
5493万2000円減

◆施設介護サービス給付費
1781万8000円

問 国は施設介護から在宅介護へとシフトしているが、この状況をどう捉え、どう取り組むのか。

答 市も国に準じて在宅福祉を推進していくが、老人福祉施設の整備についても、平成27年度から29年度の状況を見て、平成30年度からの第7期介護保険事業計画の中で検討していきたい。

◆国民健康保険事業特別会計補正予算基金繰入金 1億426万円

問 繰入金の額が大きいが、基金があるなら国民健康保険税を減額しては。

答 基金の目的は医療給付費の不足に備えるもの。医療給付費が増加傾向にある現状と、平成30年に国民健康保険制度が都道府県単位になることへの備え。

◆図書館運営管理費
1453万7000円

説明 図書館の空調機器の修繕。

問 計画を立てて行っているのか。

答 今回は4階会議室、6階フロアの空調機器の更新を行うもので、順次整備を進め、利用者に

快適な読書環境を提供したい。

◆空き家リノベーション観光活用事業 1065万円

問 過去の他事業の実施状況も踏まえ、契約期間などを明示すべきではないか。

答 物件調査を通じて所有者と十分な協議を行い、モデルケースとなるよう努めていく。

◆「鯖」復活「プレミアム養殖拡大プロジェクト」2500万円

問 養殖は難しく、値段設定や事業展開については過去の事業からみても非常に厳しいと思われるが、将来の見込みは。

答 全国各地の先発事例を参考に、最新の養殖技術を開発し、機関と連携しつつ実施していく。販路開拓や付加価値についても研究して積極的に取り組んでいきたい。

予算決算常任委員会
（平成28年度当初予算）

◆北陸新幹線建設促進事業
248万2000円

説明 北陸新幹線小浜ルートが発着番組制作委託料などにかかる費用。

問 取り組み内容は。

答 チャンネルOでの番組作成を計画している。国・県への要望活動や市民啓発のさらなる強化に柔軟に対応していく。

意見 駅舎を含む市独自の

ルート図の構想を持って活動する必要があるのでは。

◆ふるさと納税事業
1億3910万9000円

説明 ふるさと納税2億円を目標とするもの。

問 達成の見通しと地場産業活性化への取り組みは。

答 平成27年度は7月からのインターネット公開により大きく伸びた。平成28年度は4月から対応でき、返礼品も90品目以上に拡大しており、2億円は高いハードルではない。地場産品を届けることにより、リピーターの確保や小浜の来訪など、活性化につなげていく。

◆介護給付事業
3億7291万3000円

問 障がい者の方も65歳以上になると介護保険に移行するが、今まで受けていたサービスが低下することはないか。

答 介護保険に移行された後も、不足する分は障害福祉サービスで提供しており、低下することはない。

◆県営公園維持管理事業
1020万3000円

問 若狭の里公園内にある市民家について、市の維持管理の姿勢を問う。

答 この古民家は県の所有物で、老朽化が進んでいる。県と協議をしたが進んでいない状態であり、再度協議を進めたい。

意見 博物館や小浜美郷小学校が

建地地域であることから、市は責任をもって環境整備を行ってほしい。

◆小浜美郷小学校建設事業
4億1328万8000円

問 工事費の変動について。

答 昨年からの補正で地盤改良工事や調整池設置工事も追加し、土地の造成工事に思わぬ事業費がかかっている。建築工事本体、校舎とアリーナ、グラウンド等の外構工事も含めて27億円という総事業費で動いている。今後の増額要因としては、消費税、人件費、資材の高騰などが考えられる。

◆水道水源開発施設整備事業（河内川タム）一般会計繰入金 3102万7000円

討論 人口の大幅減少で水道ビジョンの計画は見通しがなく、このような大型公共事業には反対である。

◆嶺南鉄道整備促進基金負担金 8750万円

討論 見通しのない新線計画に対し、平成25年末の基金が12億円ある。基金積み立ては凍結し、財源を市民の負担軽減に回すべき。

◆下水道使用料
4億5191万1000円

討論 下水道使用料が11月分から全体で約12%値上げされ、市民生活への影響が懸念される。年金や実質賃金が下がる中での値上げには反対である。

◆河内川タム小浜市負担金
1億8971万5000円

討論 大幅な人口減少で水道ビジョンの計画は破たんしている。

総務民生常任委員会

◆議案第25号 小浜市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正について

問 人事評価制度の導入について、その評価方法は。

答 本人および上司による5段階評価を行う。研修等により適正な評価に努める。

◆議案第35号 小浜市母と子の家庭児童支援センターの設置および管理に関する条例の一部改正について

問 指定管理に移行する理由は。

答 言語聴覚士等の専門職員を有する事業所が運営することで、現状よりも充実したサービスが展開できると考えられるため。

問 母と子の家の収支状況と指定管理料の予定額は。

答 運営費は約700万円であり、指定管理料についてはその範囲内で想定している。

◆議案第36号 小浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 介護サービス事業所が、県の管轄から一部市に移管されたことによる変更点は。

答 今回の介護保険法の改正により、19人未満の小規模なケアサービス・通所介護は、市が実施する地域密着型サービスに位置付けられた。基本的に基準等はそのままだが、事業者は運営推進会議の開催などの負担がある。

産業教育常任委員会

◆議案第38号 小浜市下水道条例の一部改正について

問 年間使用水量の多い所と使用料は。

答 一番多い所は公立小浜病院で、年間約1200万円である。

意見 経済原則では、使えば使うほど単価が安くなるのが普通であるが、小浜市は反対に単価が上がっていく。その考え方を改める時期ではないか。

◆議案第42号 負担付き寄附の受納について

問 藻場の造成の内容と海水浴場の砂浜への影響は。

答 福井県が志積で藻場の実験を行っている。京都府では藻場の造成がかなり進んでいる。投入する石は天然石が良いため九州の石を、投入時期は春先が良いため工事自体を5月末に終了予定。設置場所は青井崎の先で、水深約7m程度であり、海流に変化を起すことも無く、砂浜に影響は無いと考えている。

問 将来展望はどうか考えているのか。

答 まずは海藻が付き、そこにサザエやアワビの稚貝を放流し、増やしていく計画である。

問 福井県との取り決めや関わりは。

答 小浜漁港は県の管理だが、公共の場所であることから、県と調整の結果、市が寄附を受けることになった。

各委員会視察報告

議会運営委員会

日時 平成28年1月13日
⑯～15日⑰

視察先

三重県鳥羽市議会、
三重県伊賀市議会、
徳島県小松島市議会

小浜市議会では、議会基本条例の制定など議会改革に取り組んできました。今回は、議会改革のみならず、議会活動におけるタブレット端末の導入や、SNSによる情報発信など、開かれた議会を進めておられる先進地議会を視察しました。



意見交換の様子

三重県鳥羽市議会

ICT化の先進地として知られており、議会運営全般とタブレット端末導入の経緯と現状について伺いました。特に、タブレット端末の議場

への持ち込みや、一般質問でのパネル使用など、議会活動の「見える化」への先進的な取り組みについて多くのことを学ばせていただきました。



議場運営について伺う

三重県伊賀市議会

早くから議会改革に取り組んでおられ、議会基本条例の内容や、議会報告会の実施内容と現状、議会の活性化について幅広く伺いました。タブレット端末の導入に関する意見交換においては、実際にかかる費用や具体的な運用方法を教えていただき、導入にあたり把握しておくべき諸課題を改めて認識しました。

徳島県小松島市議会

議会報告会などの議会活動について伺いました。タブレット端末導入の経緯や、

導入当初の課題を具体的に伺いました。また、運用を開始してからの具体的な感想をお聞きして、タブレット端末を使用した議会活動をイメージしながら意見交換を行うことができました。

産業教育常任委員会

日時 平成28年1月18日
⑱～20日⑳

視察先

岡山県岡山市・備前市、香川県琴平町、兵庫県南あわじ市

岡山県岡山市

岡山市立小学校を訪れ、小学校の統合について、教育委員会・学校関係者と意見交換を行いました。保護者と住民との意見の相違があったことから学校の統合が不調となった事例をお聞きし、今後の小浜市の小学校統合を検討するうえで非常に参考になりました。

岡山県備前市

日本遺産の活用について意見交換を行った後、世界最古の庶民の為の公立校「旧学校」を視察しました。国

宝の講堂を中心とした備前焼き屋根の建物群は実に堂々としてその威容を誇り、姫路藩主でもあった池田光政公の創業の精神は、連綿と引き継がれていると感じました。

香川県琴平町

「旧金毘羅大芝居 金丸座」を視察し、芝居小屋の活用について意見交換を行いました。

金丸座は江戸時代に建てられた現存する日本最古の芝居小屋で、毎年春に「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が興行され、全国から沢山のファンが訪れる本格的な芝居小屋です。



金丸座を見学

兵庫県南あわじ市

食のまちづくりに関する意見交換を行った後、「食の拠点施設直売所」を視察しました。

南あわじ市は農作物の大生産地ですが、人口減少、農

業従事者の高齢化問題も抱えており、獣害もあります。また、大消費地と距離があり、観光客を中心とした経営では安定しないので、地元客に購入してもらうことが今後の課題とお聞きし、しっかりとした仕掛け人・リーダーの存在が必要であると感じました。



南あわじ市役所にて

原子力発電所安全対策特別委員会

日時 平成28年1月22日⑳
東濃地化学センター
研究 所

日本原子力研究開発機構は、原子力発電で使用した燃料をリサイクルする過程で生じた「高レベル放射性廃棄物」を安全に地層処分するための研究・技術開発を行っている。瑞浪超深地層研究所では、地下の環境、現象に

日本原子力研究開発機構は、原子力発電で使用した燃料をリサイクルする過程で生じた「高レベル放射性廃棄物」を安全に地層処分するための研究・技術開発を行っている。瑞浪超深地層研究所では、地下の環境、現象に

日本原子力研究開発機構は、原子力発電で使用した燃料をリサイクルする過程で生じた「高レベル放射性廃棄物」を安全に地層処分するための研究・技術開発を行っている。瑞浪超深地層研究所では、地下の環境、現象に

関する調査研究が行われています。

当日は、現地職員同行のもと、エレベーターで地下300mの坑道に入り、地層の状況や地下水の量と流れ、坑内の通気などの説明を受けながら坑道を見学しました。

質疑応答では、施設への投入予算は年間約20億円であることや、中国とインドは原子力発電を増やすとされていることから、ウラン燃料の値上がりが予想されること。地下処分が良いと考えられている世界的方向の中で、ひとつの例として、この施設で自然を知るための研究を行っていることなどを詳細にご説明いただきました。



地下坑道にて

市政を問う！一般質問

平成28年第1回（3月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	風呂 繁昭	1. 新年度予算編成について 2. まちづくりについて 3. 六次産業推進 4. 高齢者福祉について	10	能登 恵子	1. 四車線道路での事故防止対策を 2. H29年度からの「介護保険制度適用見直し」について
9	西本 清司	1. 発光ダイオード(LED)対策について 2. 市の観光施策について 3. ふるさと納税について	10	下中 雅之	1. 嶺南地域広域連携の取り組みについて
9	今井 伸治	1. 小浜市の観光行政について 2. 小浜市の教育行政について	10	宮崎治宇蔵	1. 小浜市の人口減少対策について 2. 高浜原発4号機の再稼働について
9	牧岡 輝雄	1. 「福井しあわせ元気」国体について 2. 公職選挙法への対応について 3. 地域福祉計画について 4. 水産学術産業拠点設置について	11	熊谷 久恵	1. 観光のまちづくり拠点まちの駅について 2. 郷土愛を育む学習について 3. 鳥獣害対策による6次産業化について 4. 安全安心のまちづくりについて

点課題への取り組み（人口減少の問題）、小浜

「市民が真に実感できるような」重点政策を何う。

財政調整基金の一部を積極的に活用、重点課題への取り組み（人口減少の問題）、小浜



風呂 繁昭
議員

3 駅構想スタート。これからの正念場！

制度創設の調査・研究を行っている。

「ポストコシヒカリ」として次世代水稲品種の開発を行い、平成30年度から本格生産に取り組み。

介護人材不足解消のために、小浜市独自の奨学金貸付制度を考えてほしい。

「国による直接支払い交付金が「平成30年産米」から廃止になる。米の半年熟成で「うま味」「栄養価」の高まる「特殊精米」を民間企業が行っている（1キロ1万円超）。また、付加価値生産されている石川県産「高級ぶどう」（ルビーロマン1房100万円）もある。小浜市も付加価値生産の振興に取り組んでほしい。

美郷小学校建設、保育料の軽減等に国の「地方創生加速化交付金」を活用し、限られた財源を効率的、重点的に配分を行った。

一般質問



西本 清司
議員

問 国の省エネ政策推進を受けて、今後の市のLED化対策で、市施設の照明器具交換費用や、市内各地域の防犯灯器具等の新設や交換時の補助等について、また国の法整備の影響等について問う。

答 現況は市施設においては最近に設置または改修等した施設以外は、ほとんどLED化は進んでいない。現施設全ての器具を交換する場合、約2億4千万円が必要となる。防犯灯について平成25年以降の新設のみLED化されているが、わずかな数である。今後も新規設置以外は各地域で取り替えをお願いしたいが、省エネの観点から他市町の事例も参考に検討の必要があると考える。

明るいつぎ世代のための取組みはいかに！

問 海の駅、道の駅に続き、まちの駅が完成間近であるが、観光発信等における戦略や戦術について、また主要拠点が2カ所から3カ所になり観光入込客数の把握の方法等、改善の必要性、考え方について問う。

答 多種多様な地域資源を生かし、また3駅を連携させて小浜の持続的な発展を実現することが重要と考える。指摘の入込数の重複計測増は十分考えられ、現行方法も利用しながらより精度を高めていきたい。

問 ふるさと納税の現況と成果、実績、また今後の取組み、目標等について問う。

答 平成26年度から受け入れたが、今年度目標を1億円に設定しインターネットやカード決済等の導入、返礼品を拡充した結果、今年度2月末で約1億4720万円となった。平成28年度は2億円を目標として取り組みたい。



今井 伸治
議員

問 まちの駅のオープニングイベント予定は。

答 5月1日から8日までオープニングウィークとして、有名落語家の公演、文化祭、シンポジウム、様々なショーやイベント、テナト市の開催等。また濱参道楽市、商店街との連携イベント、まちなかマルシェ、まち歩きツアー等も企画している。

問 小学校統合再編について、学校建設費や維持管理面からの考え方は。

答 小学校統合再編について、学校建設費や維持管理面からの考え方は。



旭座完成予想図

5月1日まちの駅オープニング！！

問 統合・再編については、少子化による児童数の減少と施設の老朽化への対応から、4校案を掲げて取り組んでいる。教育環境や活動の充実を始め、地域の実態を踏まえた通学条件や学校運営上の課題への対応、地域コミュニティ、建設財源の確保など重要な検討課題として認識している。

問 子どもの貧困について、学校への指導は。

答 家庭が貧困だと、子どもたちに必要な日用品や栄養豊富な食べ物提供できない。貧困は子どもたちの心をすさんだもの、投げやりなものにする。そこで先生方には子どもたちの実態を家庭訪問などで把握し、民生委員の方々など支援者と連携しながら見守って欲しい。他所で見られる悲惨な出来事が起こることのないよう呼びかけている。



牧岡 輝雄
議員

問 生活困窮者自立支援法の施行から1年、「自立促進支援センター」の現状と課題は。

答 現在、社会福祉士の資格を有した主任相談支援員が相談者に寄り添いながら解決に向けた支援を行っている。相談内容の主なもの、収入・生活費のことが21人、病気・健康・障がい・住まいについて、また、家賃やローンの支払い、ひきこもり、不登校がそれぞれ6名で、その相談延べ数は、1月末で727件である。課題としては、社会的に孤立している方が多く、自立するために何らかの社会関係を取り戻せるよう支援していく必要がある。今後は、新たに「相談支援員」を1名増員し、関係機関と連携し

子どもの貧困とその連鎖防止を問う

ながら包括的、継続的な支援を実施する。

問 貧困により子どもの学習機会が失われているが「学習支援事業」の取り組みはどうか。

答 貧困の連鎖を防止することを目的に、生活困窮者自立支援法に基づき開始された任意事業で、生活保護受給世帯の小・中学生の基礎学力向上に向けて学習塾にかかる費用を支援している。現在、小学生2名、中学生2名が週に2回、学習塾に通い個別指導を受けている。

問 本市への水産学術拠点整備について小浜市の認識を問う。

答 県は28年度に基本構想の策定に着手の予定と聞いている。本市に水産学術産業の拠点が設置されれば、水産業の発展に大いに寄与するものと期待している。地元自治体として協力できるよう、関係機関と連携を密にしたい。



能登 恵子
議員

〔 平成29年春から「介護保険制度適用見直し」が実行される。要支援1・2が、介護保険から小浜市独自の事業へ変わり、収入により、1割負担が2割になる。サービスを利用できなくなる困難者が増えるのでは。〕

〔 生活支援は家族支援を優先するので、家族がおられても、一律に生活援助を対象外にしない。今後不足する生活支援の担い手、人材の育成に努める。〕

〔 本市で最初の4車線道路で、交通事故発生の危険性が高い道路であることは認識しているが、これまで逆走による事故が発生していないことから、現在のところ対策協議は実施されていない。今後小浜警察署等と情報を共有して防止に努める。〕



4車線道路

4車線では逆走があります。ご注意を！

〔 相談機能の強化、支援体制の充実に努めていきたい。〕

〔 介護離職を無くす対策は。〕

〔 特殊寝台、車いす、床ずれ防止用具は無理だが、調査結果により可能になる。〕

〔 要介護1以下は借りられなくなるのか。〕

〔 足腰が弱り、寝たきり予防や転倒予防にも必要な「介護福祉用具（手すり・歩行器・スロープなど）」について、要介護1以下は借りられなくなるのか。〕

〔 現在のクリーンセンターは、昨年度に地元の方々の了承のもと10年間の稼働期間延長が決まったところであるが、次期施設に対する考えを伺う。〕

〔 次期施設については、10年間の稼働期間延長の中で、新たな広域ごみ焼却施設の稼働を目指しており、現在、平成34年度の供用開始を目標に、嶺南6市町



下中 雅之
議員

〔 構成する「廃棄物処理広域化準備室」において協議を重ねているところである。〕

〔 平成27年度は、嶺南地域広域行政推進委員会の福祉・雇用部会において、平成30年度から介護認定審査事務等の広域化（共同処理）に向けて、運営体制や経費の負担割合などの検討を行った。平成28年度も引き続き詳細な事務などの検討を行い、平成29年度には移行準備を進めていく予定。〕

〔 介護認定の広域化における課題解決の考え方について伺う。〕

〔 斎場の新施設整備に対する考えを伺う。〕

〔 小浜市、おおい町、高浜町の副市長で構成する「広域斎場整備協議会」を設置し、現在、建設候補地の選定、広域化による利用者の利便性、施設概要、整備後の運営方法など様々な課題を協議、検討を進めている。〕

広域連携による魅力あるまちづくりを！

〔 子育て支援センターの利用者は、昨年度14134人と8倍以上の増加。子育て情報を一元化したインターネットサイトを作成。ワンストップ窓口機能を持たせ、サービス周知の徹底を図る。〕



宮崎治宇蔵
議員

〔 小浜市役所の労働環境については、平成27年度から非常勤職員についても育児休業が取得できるようになり、現在保育士1名が利用している。〕

〔 高浜原発4号機の緊急停止等の相次ぐトラブルについて、小浜市の対応はいかがか。〕

〔 関西電力に対し、市民の安全安心の確保が重要で、原発の安全性を向上させるための取り組みをするよう申し入れを行った。〕

〔 広域避難訓練の早期実施について。〕

〔 訓練の早期実施について、国・県に強く働きかけていく。〕



運動遊びを楽しむ子どもたち

広域避難訓練の早期の実施を



〔 認知症の相談は今年度約400件と急激な増加が見込まれる。「認知症ケアの推進」を大きな柱に、積極的に取り組む。〕



熊谷 久恵
議員

○ 旭座・まちの駅は子ども達の身近な場にある観光施設となる。地域資源や特産品、観光情報を身近に知ってもらうチャンスでは。

○ 子ども達に知ってもらうことは将来に向けたまちの発展において必要不可欠。郷土愛の醸成を図る場としても活用したい。

○ 獣肉の処理基準と普及について。

○ 獣肉の衛生管理および品質確保に関するガイドラインに基づき、安全で良質な食肉流通に努めている。小中学校とも連携し、鳥獣被害の状況や猟友会の役割なども学ぶ総合学習の中で、ジビエ給食も実施するなど普及を図っている。

○ 子どもが危険な目にあつた時に向け込め

子どもの時の経験が生きる力に

る場所「子ども110番の家」について、現状と周知状況は。

○ 平成13年に、PTAが中心となり1000件を目標に地域に協力を呼びかけ、現在856件。子どもの安全・安心感を高め、犯罪の抑止や地域連帯強化にも効果があると考える。再度広報おぼまやメディアを活用し周知を図りたい。

○ ふるさと学習の取り組みと活用について。

○ 地域を知り、子どもの目線でもとらえた課題の解決や素材の活用、新たな魅力の発見やふれあい体験活動などからも郷土愛が育まれると考える。27年度から子どもの活性化案を具体化する取り組みもしている。

【意見】 比較できる経験がなければ良さに気づくことはできない。子どもは観光大使ととらえ、小浜ならではの自然や食や風土を生かした体験教育を望む。

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

— 6月定例会の予定 —

- 6月 3日 (金) 本会議
- 6月16日 (木) 一般質問
- 6月17日 (金) 一般質問
- 6月23日 (木) 本会議

今月の表紙

レトロバスが完成

まちの駅がオープンする5月1日から、「道の駅」、「まちの駅」、御食国若狭おぼま食文化館を中心とする「海の駅」をつなぐ周遊レトロバスが土日祝日に運行されます。このバスを利用される観光客の皆さまが、市内の様々な場所をめぐり、快適に滞在していただけることを期待しています。

議会報告会を開催します

どなたでもご都合のつく日時・会場にお気軽にお越しください

日時・会場

- 5月10日 (火) 19時～21時 口名田、今富、宮川、西津の各公民館
- 5月13日 (金) 19時～21時 中名田、松永、遠敷、雲浜の各公民館
- 5月17日 (火) 19時～21時 加斗、内外海、国富、小浜の各公民館

内 容

- ①議会報告
- ②その他 (意見交換)



特集 北陸新幹線小浜(若狭)ルートを目指して

北陸新幹線敦賀以西ルートが決定的に迫る中、小浜市議会としても積極的に関係機関への働きかけを行っております。小浜(若狭)ルート誘致活動を支援くださっている皆さまの活動をご紹介します。

北陸新幹線若狭ルート早期実現小浜市民協議会の設立

若狭ルートの早期実現に向け、地域が一体となって、その熱意を内外に示すことが大変重要であることから、平成26年10月に設立されました。

食のまつり来場者にPR

平成27年10月に開催された「OBAMA 食のまつり」会場に若狭ルートPRコーナーを開設し、小浜(若狭)ルートの必要性と整備効果をPRしました。



若狭青年会議所の先輩から受け継ぎ、これまで足かけ20年、若狭ルートに打ち込んできました。実現すれば日本海側の小浜市が180度変わるような発展が見込めるように感じております。

この宝の山である新幹線を未来の子どもたちのために残せるよう、これからもがんばっていきたくて思っております。

(小浜商工会議所 交通開発委員長 桂田さん)

北陸新幹線若狭ルート建設促進総決起大会

平成27年12月には約500人の参加をいただいた総決起大会が開かれ、大会決議を採択、国などへ要請していくことを確認しました。

県内選出国會議員はじめ多数のご出席をいただいたほか、ガンバロー三唱では、地域の子どもたち約150人とともに、早期実現に向けた熱いメッセージを広く発信しました。



北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議

北陸新幹線は、多極分散型国土の形成を推進し、国土の均衡ある発展に欠かせない極めて重要な国家プロジェクトである。また、大規模災害時においては、東海道新幹線の補完代替機能を果たすなど、多重化による輸送体系の確立とともに日本海国土軸の形成を通じて、災害に強い強靱な国土づくりに大きく貢献することが期待されている。

さらに、フル規格により大阪までが整備されれば、北陸新幹線の沿線各地域が直接関西圏と結ばれることとなり、経済波及効果とともに顕著な時間短縮効果が見込まれている。

現在、敦賀以西ルートについては、3月10日の与党敦賀・大阪間整備検討委員会において、小浜・京都ルート(JR西日本提案)、舞鶴を経由するルート、米原ルートの3案にほぼ絞り込まれた。

今後は国が5月までに調査を開始し、その結果をもとに与党検討委員会がルートを決定的にすることとなっている。小浜・京都ルートは、本市がこれまで主張してきた若狭(小浜)ルートのひとつであり、京都駅を経由することに伴い、旅客流動性が高まることから、利便性の確保につながるなどの利点があるルートである。

ついでに、年内に小浜・京都ルートを決定いただきたく、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 敦賀以西については、小浜・京都ルートとし、開業年度を明らかにすること
 - 2 大阪までのフル規格による早期全線整備を実現すること
- 以上、決議する。

平成28年3月23日
福井県小浜市議会



編集後記

新年度が始まり、菜の花に続き桜、芝桜、つつじと春の花が順を追って彩る華やかな季節です。5月からは旭座・まちの駅の運営が開始となり道の駅・海の駅・まちの駅をつなぐ三駅構想が始まります。また今年度は新幹線の敦賀以西ルートが確定する見込みということで、小浜市の将来に影響ある決定がなされる年です。

若い世代が地元小浜で暮らし、市民が快適で幸せな生活を送れるよう、生活に密着した議会活動に一生懸命取り組んでまいりますので、益々の関心とご協力をよろしくお願い申し上げます。

親しみやすい議会だよりをお届けできるよう頑張っています。ご意見・ご感想などございましたら、ご連絡ください。(広報委員 熊谷)